愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	教育社会学		
担当者(Instructors)	虎岩 朋加	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

諸外国の学校教育の動向と比較しながら日本の教育政策の変化に注目し、現代の公教育制度の諸課題を理解する。さらに学校経営の仕組みと効果的な方法を探究しながら学校評価のあり方について学ぶ。地域との連携の意義と協働の仕方について検討するとともに、学校安全の目標を達成するための具体的な取組みについて考察する。リモート授業（オンデマンド）を活用して、授業進捗に支障が出ないようにする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	本授業は講義形式で行う。課題を提示し、課題に取り組むことで学習活動の活性化を図る。4回程度リモート授業を実施する予定である。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	教育社会学を学ぶこと	教育の社会的機能を考察し、教育社会学を学ぶことの意義を探る。	□
第2回	「社会」の観点からみた教育実践	教育内容や方法がどのように決められていくのか、社会的諸力との関係から考察する。	□
第3回	教育格差社会と学校の機能	階層社会という現実から、教育の機能を批判的に考察する。	□
第4回	平等な義務教育の（不）可能性	義務教育の平等が意味することを、「平等」の根本的意味から捉えなおし、現実の義務教育の課題を紐解く。	□
第5回	進路選択と高校の階層構造	高校の階層構造の変化によって生じた進路選択の在り方を歴史的観点も取り入れながら議論する。	□
第6回	学歴社会と教育機会	学歴社会という現実の在り方が及ぼす生徒への実質的な影響を考える。	□
第7回	家庭の経済格差と子ども	子どもや保護者の言動の背後に家庭の経済格差がいかなる影響を与えているのか解き明かす。	□
第8回	社会問題化する教育問題に対する学校教育の視点と学校・学級経営の課題（１）いじめ問題	社会問題化された教育問題を学校教育の視点から捉え直し、その上で、いじめ問題をめぐる学校・学級経営の課題を解き明かす。	□
第9回	社会問題化する教育問題に対する学校教育の視点と学校・学級経営の課題（２）不登校問題	社会問題化された教育問題を学校教育の視点から捉え直し、その上で、不登校問題をめぐる学校・学級経営の課題を解き明かす。	□
第10回	社会問題化する教育問題に対する学校教育の視点と学校・学級経営の課題（３）暴力・非行問題	社会問題化された教育問題を学校教育という視点から捉え直し、その上で、暴力問題をめぐる学校・学級経営の課題を解き明かす。	□
第11回	多文化社会の学校（１）学校のなかの異文化と多文化理解	外国人の受け入れが広がる中、地域の学校に外国人児童が在籍する現実を紹介し、地域の多文化かの実態を考える。	□
第12回	多文化社会の学校（２）外国人児童生徒教育	外国人児童生徒教育の目的や対象や方法を、これまでの各地域での様々な実践に即しながら、整理していく。	□
第13回	ジェンダーから見る学校教育	ジェンダーの観点から、学校教育の実践を批判的に考察する。	□
第14回	セクシュアリティから見る学校教育	セクシュアリティの観点から、学校教育の実践を批判的に考察する。	□
第15回	教育問題を克服する安全な学校の経営（学校づくり）	これまでカバーした具体的諸問題に関する諸議論をまとめ、教育問題を克服するための安全な学校の経営について総合的に検討する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

毎回の授業開始時に提示する課題について、授業終了直前に小レポートにまとめ提出する。その課題解答に関連した事後学習を行う（2時間

程度）。 事前学習として、次回のテーマに関するテキストの該当頁を予告し、事前に目を通す（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題は、授業内で提示する課題についての小レポートと、最終レポートである。小レポート、最終レポートについてはコメントを付して返却する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	現代の学校教育に関する社会的、制度的さらには経営的事項の諸課題に関する知識を習得するとともに、地域との連携に注目し、学校安全に関する諸課題について理解することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	現代の学校教育に関する社会的、制度的さらには経営的事項の諸課題、地域との連携、及び、学校安全に関する諸課題について理解の上で、それらと正面から向き合い、課題解決のための思考を働かせ、判断し、その内容を表現することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
40%				60%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

毎回の課題小レポートと（60%）と定期試験＝筆記試験（40%）で総合的に評価する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	『現場で使える教育社会学』中村高康、松岡亮二編著、ミネルヴァ書房、2021年	9784623092604
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	参考書はそのつど紹介し、参考資料は必要に応じて随時配布する。	
2		
3		
4		
5		